

「美術」学習指導案

1. 日時 令和6年12月9日(月) 第2・3時限(9:45～11:15)

2. 場所 美術室1

3. 学部・学年・組 高等部

4. 単元(題材)名 「美味しさをかたちに～樹脂粘土で食の表現～」

5. 単元(題材)目標

- ・樹脂粘土の形や色の変化を感じ、技法を効果的に組み合わせながら造形物(寿司)の表現方法を工夫している。

【知識・技能】

- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図を考え、主題を基に豊かに発想を練ったり、作品に対する見方や感じ方を深めたりしようとしている。【思考力、判断力、表現力】
- ・美術の創作活動の喜びを味わい、主体的に作品制作や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

6. 生徒観

この学年は、発達課題に応じて4グループに分かれて授業を行っている。美術では、2グループに分かれて活動し、本授業の対象であるグループは幅広い発達課題のある生徒で構成されている。

造形活動の実態としては、一斉指導で教師の説明を理解して活動できる生徒や個別の言葉かけを必要とする生徒、集中力を持続させることが難しい生徒など必要となる支援は様々であるが、制作過程に見通しを持つことができると、制作に集中し取り組むことができる。しかしテーマに対してイメージを膨らませ自発的に制作に取り組むことが苦手な生徒も多く存在する。参考作品の提示やタブレット端末を使用し、視覚的に手順を理解できるような支援や、用具の効果的な使い方を紹介し、工夫できるようにすることで一人ひとりの課題に合わせた支援を行い、制作活動に自信を持って意欲的・積極的に取り組む場面が増えた。キャリア発達の視点では、自分の状況を伝えることは徐々にできるようになっているが、問題を教師と共有し、解決策を求めることに苦手意識を持つ生徒も多く、自ら進んで相談する力に課題がある。

7. 教材観

この単元では、特別支援学校学習指導要領中学部美術1段階の内容である、「ア 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に着けるようにする。」「イ 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。」「ウ 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度をやしなう。」に重点を置いて授業を行っている。また、生徒の発達段階に幅がある為、個別に応じた評価規準に基づき支援を行う。

まず、身近な食べ物である「寿司」を題材にすることで、生徒が制作を通し、楽しみながら普段の生活と美術をつなげる体験ができるように取り組む。寿司の形や色、質感を再現する中で、細かい部分に注意を向ける力や観察力を伸ばせることが期待できる。さらに、樹脂粘土を使った作業を通じて、手先の感覚を養うとともに、素材の色や質感を捉え集中して作品をつくることで表現力を引き出せるようにする。完成後は、鑑賞を通して、生徒一人ひとりが各々のアイデアを活かして、自分らしさを表現できるよう感じ取ったことや自分の見方や感じ方を主体的に発表することで、美術を通じた成長と自己表現をサポートすることができる。キャリア発達の課題に対して、作品制作の過程で生徒自身が自分の進捗や困りごとを教師と相談しながら次の過程に移ることができるよう、作業工程を段階的に分けた教材を活用し、自分の状況を整理する活動を取り入れ相談力の向上を図る。

8. 指導観

本グループの授業では、生徒が制作する楽しみを見出すためにも自主性を大切にしたい指導を行う。その為に、ティームティーチングを活かして生徒の実態や状況に応じた授業展開になるよう制作状況の情報を共有することで課題を明確にし、一人ひとりの課題に合わせた支援ができるようこころがけている。また、生徒の興味・関心を引き出し、見通しを持って活動に取り組むことができるよう、生徒の実態に合わせて、ICT機器を活用した視覚的な理解を促す教材提示を行っている。導入時には制作過程の説明や見本をモニターで提示し、完成した作品のイメージを持たせ、様々な表現や面白さを伝える工夫をすることで、生徒が積極的に授業に取り組む意欲が持てるようにしている。キャリア発達の視点から制作過程で分からないことがあった場合は、近くの教師に聞く（相談）、課題が完成した際には「できました」（報告）と、教師に伝えてから次の工程に移るなど、自らの「状況の把握」と「解決に導く手段」を取得することで、授業を通して卒業後に向けて人に伝えることの大切さを学び、充実した学校生活を送り卒業後の社会で生きていく力を付けていって欲しい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 表したいことに合わせて材料や用具の使い方を知り、表し方を工夫し制作することができる。【知】 ② 形や色の変化を感じ、表現方法を工夫している。【技】	① イメージを基に表したいことや表し方を考えようとしている。 ② 友だちの作品を見て、見方や感じ方を深めようとしている。 ③ 樹脂粘土の特性を理解し、制作に取り組もうとしている。	① 課題に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。 ② 完成をイメージして展示する場面を考えて制作しようとしている。 ③ 友だちの発表を聞こうとしている。

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全9時間、本時は第5時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1	1 2	「樹脂粘土について知ろう」 「食べたい寿司のアイデアスケッチを描こう①」	・樹脂粘土と紙粘土の違いについて知り、タブレット端末を使用し、特徴をまとめる。 ・タブレット端末を使用し、食べたい寿司を検索し、参考資料をまとめる。	・電子黒板やタブレット端末を用いて、樹脂粘土について学べるようにする。 ・イメージを膨らませるために参考作品を準備する。	A①② B③ C①
	3 4	「食べたいお寿司のアイデアスケッチを描こう②」	・タブレット端末を使用し、アイデアスケッチを制作する。	・電子黒板を使用し、参考作品を鑑賞し、創作イメージを膨らませる。 ・生徒が主体的に取り組めるようにアイデアスケッチに参考作品を示す。 ・完成した作品を鑑賞する時間を設ける。	A①② B③ C①③
2	5 6	「食べたいお寿司を作ろう①」 鑑賞にむけて	・樹脂粘土の特徴を学び、制作工程を理解し、制作に取り組む。 ・完成したお寿司を見て鑑賞ワークシートに取り組む。	・電子黒板を使用し、制作手順を示す。 ・ネタの色や形を作る方法を紹介する。 試作品を提示し、完成イメージができるようにする。 ・場面に応じて個別で言葉かけを行う。	A①② B③ C①③
	8 9	まとめ	・完成したお寿司を鑑賞し感想を発表する	・電子黒板に作品の写真を映し出す。 回転ずしのレーンに作品を流し、順番に発表できる場面を設定する。	B② C②③

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・樹脂粘土の特徴を知り、アイデアスケッチをもとに制作工程を理解する。
- ・完成をイメージして表現したい色を選び、樹脂粘土で形成しようとしている。
- ・進んでイメージに合った教材・教具を手に取り制作を積極的に取り組もうとしている。

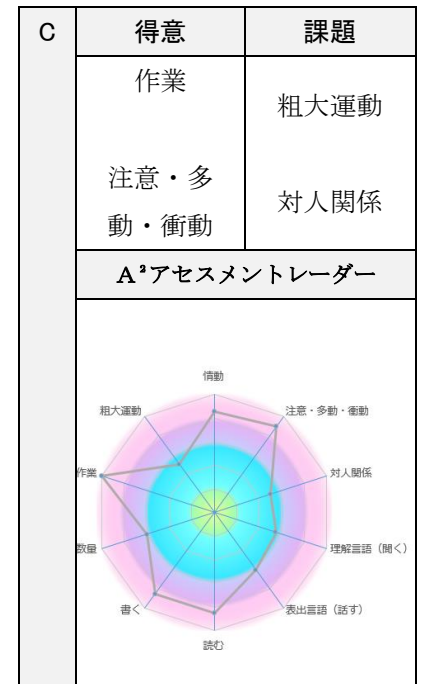
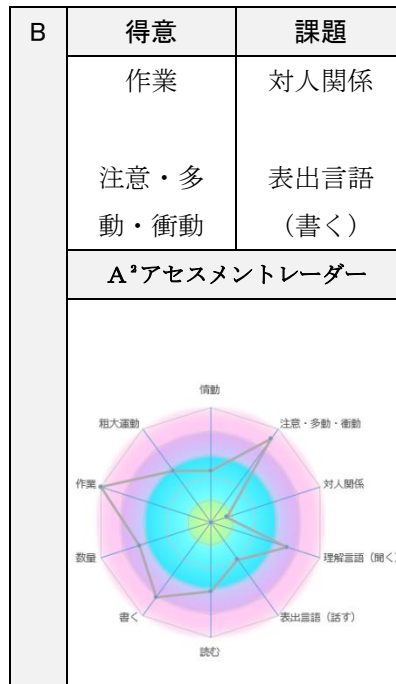
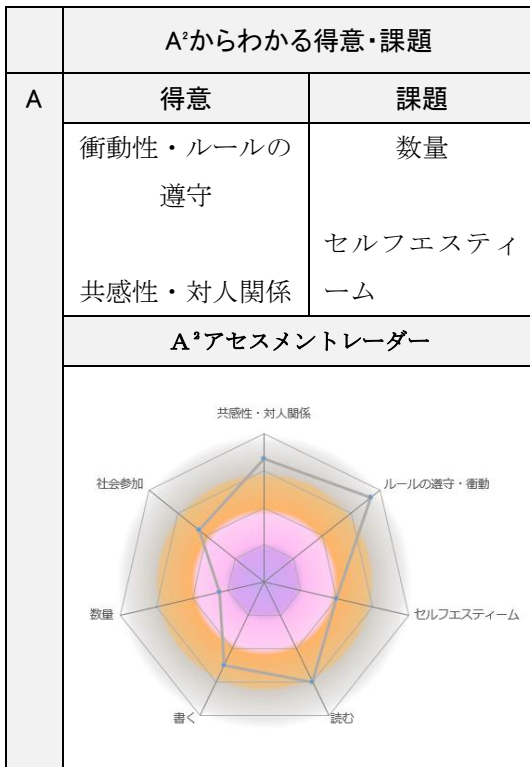
(2) 本時の評価規準

- ・表したいことに合わせて材料や用具を使い表現方法を工夫している。
- ・イメージと合った色を選び、積極的に表現しようとしている。
- ・課題に興味を持ち、積極的に取り組もうとしている。

(3) 本時で扱う教材・教具

タブレット端末、電子黒板、樹脂粘土、水彩絵の具、粘土ヘラ

(4) 児童生徒の実態と本時の目標



(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準(評価方法)
5分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・出席確認 ・前回の振り返り ・本時の説明 ○ねらい 「完成をイメージして表現したい色を選び、造形することができる」 ○工程 <ul style="list-style-type: none"> ①前回の振り返り。 ②アイデアスケッチを見ながら樹脂粘土で寿司を作る。 ③完成した作品を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直を指名し、号令をかけるように指示を出す。(T 1) ・生徒の様子から体調などを確認する。(T 1、T 2、T 3) ・前回で取り組んだ内容をモニターに掲示し、振り返ることができるような質問をする。 ・本時の予定を確認し、見通しを持って授業が行えるようにする。 ・試作品を提示し、絞り方や模様についてイメージできるようにする。 ・生徒の様子を見ながら発問し、今日取り組むことについて理解できているか確認しながら説明を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の方を向いてあいさつができている。 ・前回の学習内容を覚えている。
60分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂粘土で寿司の制作 各机の上に、樹脂粘土、粘土ベラ、水彩絵の具を準備する。 ・制作の準備に取り掛かる。 ① 袋から樹脂粘土を取り出し、アイデアスケッチを見て手順に沿って事前に決めていた色になるよう水彩絵の具を混ぜる。 ② 粘土ベラを使い、アイデアスケッチを基に樹脂粘土を形成する。 ③ 完成した作品をアイデアスケッチの横に置く(未完成の場合は袋に入れる)。 ・片付け ① 完成した作品は机に置く。 ② 樹脂粘土を袋に入れ、黒板前の机に集める。 ③ 片付けが終わった生徒から着席。 ・鑑賞準備 ① 作品が完成した生徒鑑賞ワークシートに自分の感想と友達の感想を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターを使用し、制作手順を示す。(T 1) ・試作品を提示し、樹脂粘土寿司のイメージができるようにする。 ・場面に応じて個別で言葉かけを行う。(T 1、T 2、T 3) ・区切りのついた生徒から片付けを促す。(T 1、T 2、T 3) ・生徒に言葉かけを行い鑑賞ワークシートへの記入を促す。(T 1、T 2、T 3) ・作品の写真を撮る(T 1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージを基に表したいことや表し方を考えることができる。 ・表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫し制作することができる。 ・積極的に教材・教具を選び制作に取り組んでいる。

<p>15 分 ま と め</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の振り返り(鑑賞) ・ 次時の説明 ・ あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の作品をモニターに掲示し、取り組んだ内容を振り返る。(T 1) ・ 生徒を指名し、作品の感想を發表できる場面を設定する。(T 1) ・ 次回の活動内容を伝え、見通しが持てるようにする。 ・ 号令をかけるように日直に指示を出す。(T 1) ・ 正しい姿勢であいさつするように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちの作品を見て、見方や感じ方を深めることができる。 ・ 教師の方を向いてあいさつができてい
-----------------------------------	--	---	--